

# わったーまちの話題

## 1月14日 地域文化を彩る方々を称えて

地域の文化振興に貢献した個人・団体に授与する、令和6年度沖縄県文化協会賞を受賞した西原町文化協会の会員2名・1団体が報告のため町役場へ訪れました。

受賞したのは、功労賞 新里勝弘さん(組踊)、奨励賞 川上栄子さん(日舞)、団体賞 写真部会(会長小橋川弘太)です。

崎原町長は「皆さんの長年の功績が認められ嬉しく思います。これからも地域文化の発展のために頑張ってください」と称えました。



写真部会 副会長  
金城康治郎さん

川上栄子さん

新里勝弘さん

## 1月18日 新たな伝説へ J1 2連覇 ヴィッセル神戸 キャンプイン

サッカーJ1リーグ2連覇を達成したヴィッセル神戸が西原町民陸上競技場でキャンプインしました。同クラブの西原町でのキャンプは昨年に続き3回目となります。

崎原盛秀町長は歓迎のあいさつで「ようこそ西原町へ。そして、J1リーグ2連覇おめでとうございます。本町が連覇の一助になれたことを嬉しく思います。西原町で充実したキャンプを送り、3連覇できるよう応援しています」と述べました。選手たちは2月1日までの期間、3連覇に向けてトレーニングに打ち込みました。また、小学生向けのサッカー教室も開催され、子どもたちは目を輝かせながら憧れの選手との交流を楽しみました。



## 1月5日 筆先に思いをこめて

西原町新春書き初め大会(西原町文化協会・書道部会主催)が町中央公民館で開催され、30名の子どもと保護者が参加しました。

子どもたちはお手本を見ながら、今年の目標や決意など、思い思いに筆を走らせた。



## 1月6日 地域を支える功績に荣誉

長年、安室区の自治会長として地域のために活動してきた與那城幸清さんが総務大臣から特別表彰を受け、崎原町長から伝達が行われました。

與那城さんは18年にわたり安室の自治会長を務め、現在も地域のために尽力しております。

表彰状を受け取った與那城さんは「地域の皆さまの支えのおかげです。感謝します」と喜びを語りました。



## 1月6日 決意新たに 命を守るぞ!

令和7年東部消防組合「消防出初式」が、同組合構内で開催されました。式では、管理者による特別点検と表彰、東部消防幼年消防クラブ西原保育園と与那原町の阿知利保育所の園児がエイサーとダンスを披露、消防職員と消防団員による合同一斉放水が行われました。また、展示訓練では、大規模災害時用の「拠点機能形成車」の紹介と建物からの火災救助訓練など日頃の訓練の成果が披露され、新年の決意を新たにしました。



## 1月12日 新春餅つきで地域をつなぐ



毎年恒例となっている津花波の本然農園(與那嶺亮太代表)による第3回本然餅つきが開催され、町内外から子どもや大人150名が参加し、つきたてのお餅を楽しみました。

餅つきのほかにも、ゆし豆腐版わんこそば「ゆしわんぐらんぷり」や採れたて野菜で作った「豚汁ふるまい」が行われ、参加者は畑の中での交流を楽しみました。



## 昔ながらの二月の行事

令和七年も、早くも二月になりました。昨日年を越したばかりのような気持ちでしたら、一月が過ぎてしまっています。さて、二月といえは何か思い浮かびますか。もしかすると節分や、チョコレートを思い浮かべる人が多いのかもしれないね。今回は、沖縄の昔ながらの二月の行事を紹介したいと思います。

製糖の村だった西原では、十一月頃からキビ倒しが始まり、製糖期間の半ばになる二月二日に、休養日を設けていました。この日は、一日飲食をして、くつろいだといえます。この行事を「クスキー」といい、各字や人によって「クススキ」「クシユクイ」「クスキワシ」と呼び方に差がありますが、「腰懸い」という字があてられます。字民が一同を会して行われる集落もあれば、サーターヤー組、サーター組など、製糖のための組織である組毎に集まって宴を開く集落、集落内の路地を境にした組に分かれて集まる集落など、集落それぞれでやり方があるようです。

また、「シマクサラシ」という行事もありました。二月と八月に行う集落が多く、ヒジャイナー(左縄)を張って、牛の骨を下げていました。これは、シマ(集落)にヤナカジ(悪風・流行病)が入ってこないようにする予防祈願で、ムンヌキ(物の怪)を祓う祈願でもありました。下げる場所は集落それぞれで特定の場所がありましたが、多くは集落の入り口で、隣の集落との境にあたる場所まで下げていたようです。そして、この日は牛肉や豚肉を炊いて食べたというので、シシクエーヨと呼ばれる地域もありました。今みると、不思議な風習に思いますが、肉を食べて体力をつけておこうと考えることと気持ちは同じではないでしょうか。ちなみに、幸地や棚原では終戦頃まで行われていたようですが、戦後はこの集落も催していません。なお、紹介した二つの行事は本来旧暦の二月に行われるため、現代では二月終りから三月頃の季節感が正しいのですが、皆さんも、正月の疲れを癒しつつ、来る年度末の慌ただしさを前に、腰を下ろしてゆっくりご飯を食べ、健康を考える月にしてみてもいかがでしょうか。ご自愛ください。

※参考文献…『西原町史 第四巻 資料編三 西原の民俗』

お問い合わせ 文化課 文化財係 ☎098-944-4998